

茨城県筑西市立伊讚小学校 (学校長 草間 武)

実施日	平成20年2月14日(木)	時間	午前9時30分～午後1時
実施場所	4年教室	対象/人数	4年生52名
担当教諭	栗原 通子	ファシリテーター	岩澤 明美
講師	クドゥス(バングラデシュ)/ゴン(中国)/フェリ(インドネシア) ニコラス(エルサルバドル)/チャイ(マレーシア)/ナスイル(パキスタン) パ(ミャンマー)/セル(フィジー) JICA筑波研修員8名		

活動内容

- ・英語による司会進行
- ・日本の文化を外国の人に紹介しようというテーマで各グループ活動
- ・ソーラン節の踊り発表

児童の感想

・外国人の前で自己紹介や歓迎の言葉を英語でゆっくり、はっきりと伝えることができた。外国人の方たちはとても優しく接してくれたので、とてもうれしかったです。日本のよさを伝えるために、調べ学習や友達の発表から、自分たちにもわからなかった日本のよさを知ることができました。また、外国人の方たちにも、日本の伝統文化・よさが伝わったような気がします。今回、外国人の方たちに自分の思いを伝えるために英語で発表しました。英語も何回も繰り返し練習しました。もっと英語が話せたら、より外国人の方たちと交流ができると考えます。だから、英語を話したり、聞いたり、書けたりできるようになりたいです。

・外国人の方たちに、日本の伝統文化やよさを伝えられてよかったです。外国人のみなさんも、私たちの発表に参加してくれたので、さらに深く交流できたと思います。英語で、発表したり、質問したりしたことが、相手に伝わってとてもうれしかったです。私が入れたお茶を、「おいしい」と言ってもらえました。発表を通して、日本には、こんないいことがあることを改めてわかりました。最後に、外国人のみなさんが、自分たちの国のことや文化などを教えてくれたので、それぞれの国のことを知ることができたし、さらに仲良くなれたと思います。

先生の感想

・子どもたちは、このワールドキャラバンに向けて、「日本の文化」について調べ、それを簡単な英語で伝えられるように学習してきました。グループごとに、紹介したい内容を決め、ALTに英語を教えてもらいながら練習してきました。本番は、より分かりやすく伝えるために、実物や資

料、演技を取り入れ英語で楽しく発表することができました。外国の講師の方々には、英語での説明がよく分かったと喜んでくれました。ふれあい活動では、講師の方々が用意してくださった、民族衣装や楽器に触れることができ、また、写真やその他の資料を使って異文化を知ることができました。あっという間の2時間でした。

成果と課題

・普段なかなか触れ合うことのできない外国の方々とは接することができ、それぞれの国の文化や様子を学ぶことができました。特に、今回は外国からの文化的な紹介だけでなく、自分たち母国の文化も外国の人に伝えることができました。ゲームや歌で、普段から英語には慣れ親しんでいますが、今回のように自分で調べたことを相手に英語で伝えられたことは、よい体験であり、自信にもつながりました。

・より効果的な活動を行うためには、講師との打ち合わせを行い、意向を聞きながら検討できるとよいと思いました。また、保護者の方々も一緒に参加できるような場を設定できるように考えています。また、多様な学習ができるよう地域の人たちや外部講師なども加わっていただくと、より効率的に活動ができると思います。

